

教育研究評議会（第10回）議事要旨

日 時 平成24年9月12日（水） 10:31～12:06
場 所 第一会議室

出席者 村松学長，田中理事，大竹理事，佐藤理事，加藤副学長，藤井副学長，野口副学長，國分学系長，高田学系長，松川学系長，増田学系長，岸研究科長，伊藤評議員，新藤評議員，赤司評議員，高橋評議員，國仙評議員，山田評議員，中島評議員，新田運営参事，五十嵐運営参事，勝山事務局長

以上22名

陪席者 荻上監事，堀口監事

議事に先立ち，村松学長から，以下のとおり報告等があった。

- ・ 8月25日に逝去された林邦夫教授（現職 歴史学分野）に対し哀悼の意を表した。
- ・ 9月1日付で事務局長の交代があった旨説明があり，勝山浩司事務局長の自己紹介があった。
- ・ 本日は事務局長が一時退席するため，事務局長による報告（Ⅱ報告事項 5 その他）を先に行うこととした。
- ・ 8月28日開催の第82回中央教育審議会において提出された答申及び中間報告について情報提供があった。

I 議 題

- 1 東京学芸大学学則の一部改正（案）について（案）
学務部長から，配付資料に基づき説明があり，審議の結果，承認した。
- 2 東京学芸大学教育学部運営規程の一部改正（案）について
教育研究支援部長から，配付資料に基づき説明があり，審議の結果，承認した。
- 3 東京学芸大学カリキュラム実施細則の一部改正（案）について
学務部長から，配付資料に基づき説明があり，主に公欠の取扱いに関する文言の解釈について質疑応答を行い，審議の結果，承認した。なお，参考の取扱要項については再度検討を行うこととした。
- 4 平成26年度カリキュラム改訂に伴う総合教育課程の課程認定（案）について
田中理事から，配付資料に基づき説明があり，審議の結果，承認した。
- 5 東京学芸大学カリキュラム改訂特別委員会規程（案）について
田中理事から，配付資料に基づき説明があり，主に教員養成カリキュラム改革推進本部との違いについて質疑応答を行い，以下のとおり確認し，審議の結果，承認した。
 - ・ 推進本部の業務の大半をカリキュラム改訂関係業務に割いている現状を踏まえ，本案のとおり業務特化した特別委員会を設置する必要がある。
 - ・ 学系長を特別委員会の構成員とすることで，実務面での効率化を図る。
- 6 国立大学法人東京学芸大学と武蔵野市教育委員会との地域連携協定書（案）について
佐藤理事から，配付資料に基づき説明があり，審議の結果，承認した。

- 7 国立大学法人東京学芸大学大学教員の審査に関する細則に基づく審査について
人事案件であるため、最後に審議することとし、その際、評議会委員、監事及び関係事務職員以外は退席することとした。(本件に係る記録は人事課が行う。)

II 報告事項

- 1 平成 25 年度大学院教育学研究科入学者選抜試験入学資格審査について
田中理事から、配付資料に基づき報告があった。
- 2 研究員の受入決定について
教育研究支援部長から、配付資料に基づき報告があった。
- 3 平成 24 年度第 4 回東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科委員会報告について
岸研究科長から、配付資料に基づき報告があった。
- 4 専門委員会報告
特になし。
- 5 その他
 - 勝山事務局長から、文部科学省における平成 25 年度概算要求の現状及び少人数学級推進等を見据えた教員定数改善計画案について、配付資料に基づき報告があった。

以上

配付資料

- | | |
|-------|---|
| 資料 1 | 東京学芸大学学則の一部改正（案）について |
| 資料 2 | 東京学芸大学教育学部運営規程の一部改正（案）について |
| 資料 3 | 東京学芸大学カリキュラム実施細則の一部改正（案）について |
| 資料 4 | 平成 26 年度カリキュラム改訂に伴う総合教育課程の課程認定（案）について |
| 資料 5 | 東京学芸大学カリキュラム改訂特別委員会規程（案） |
| 資料 6 | 国立大学法人東京学芸大学と武蔵野市教育委員会との地域連携協定書（案） |
| 資料 7 | 平成 25 年度大学院教育学研究科入学者選抜試験入学資格審査結果報告書 |
| 資料 8 | 研究員の受入決定について（報告） |
| 資料 9 | 平成 24 年度第 4 回東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科委員会議事日程 |
| 資料 10 | 平成 25 年度文部科学省における概算要求組替え基準の姿 |
-
- | | |
|------|--------------------|
| 参考 1 | 教育研究評議会（第 9 回）議事要旨 |
|------|--------------------|